

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

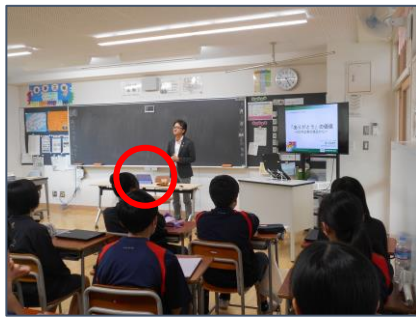
仙台市立錦ヶ丘中学校（仙台市）

【取組内容②】 「クラウドを活用した分散型学年授業」

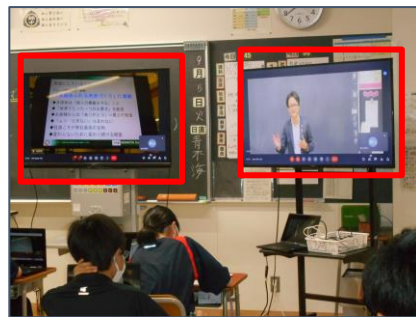
【概要】

大規模校では、学年（全校）児童生徒が集まれる場所は限られる。そこでMeetを活用し、生徒が自席で集中して講話を聞くことのできる環境を構築。様々な場面で実践している。

実践例①「職業講話（仙台自分づくり教育）」

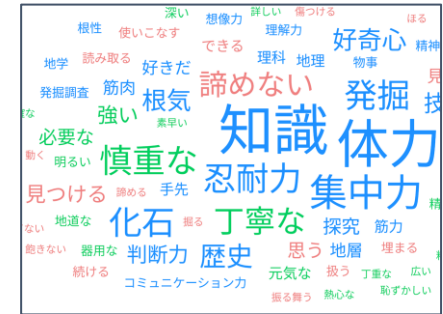


（講師がいる）メイン学級では、2台の端末を準備し、それぞれ会議室（Google Meet）を立ち上げ、講師と資料を別々に配信する。



（講師のいない）サブ学級では、2台のMeet用のモニタを準備し、端末を接続して、講師と資料をそれぞれの映す。資料を映したmeetには生徒も接続できるように設定し、手元でも資料を見ることができるようになる。

実践例②「出前授業（生涯学習部文化財課）」



事前のアンケートで収集したテキストデータをテキストマイニングで分析した結果を示し、他のクラスの生徒の考えに触れる。



メイン学級から配信するだけではなく、サブ学級と双方向でやり取りをし、意見の発表や質疑など、全クラスで、意見交換や考えの共有ができた。